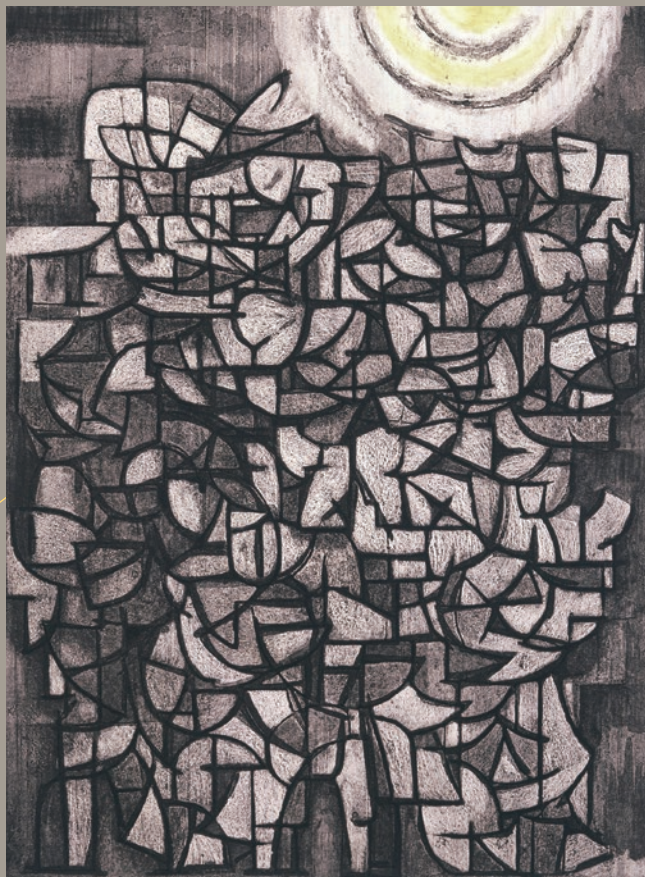


菅野陽と浜田知明

2025
12.13[土]

2026
2.23[月・祝]



菅野陽《月と子供》1960年 茅ヶ崎市美術館蔵

会場 | 茅ヶ崎市美術館 展示室1

開館時間 | 10:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日(ただし1月12日、2月23日は開館)、12月29日(月)-1月3日(土)、1月13日(火)

観覧料 | 一般400(300)円 大学生200(100)円 市内在住65歳以上200(150)円

※高校生以下、障がい者およびその介護者は無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催 | 茅ヶ崎市美術館(指定管理者:公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団)

銅版画の夜明け前



浜田知明《風景》1967年 茅ヶ崎市美術館蔵 © Hiroko Hamada 2025/JAA2500160

茅ヶ崎市美術館
CHIGASAKI CITY MUSEUM OF ART



浜田知明《教授達》1981年
© Hiroko Hamada 2025/JAA2500160



浜田知明《ボタン(A)》1988年
© Hiroko Hamada 2025/JAA2500160



菅野陽《はねるクラウン》1959年



菅野陽《見える見える》1958年

日本で銅版画に取り組む芸術家が急速に増加するのは、1950年代に入ってからです。材料や道具、学ぶ場が限られたなかで果敢に技法を取得し、独自の表現へと昇華させた銅版画家が多くいました。当館収蔵作家の中から、そうした銅版画界の黎明期に新しい表現を求めた菅野陽(1919-1995)と浜田知明(1917-2018)を紹介します。

菅野は複雑な線と面を組み合わせた表現で「人体」に着目した作品を多く手がけるだけでなく、銅版画史の研究者としても知られる茅ヶ崎ゆかりの銅版画家です。一方、浜田は菅野よりも更に早く1950年の時点ですでに銅版画に本格的に着手し、自身の過酷な戦争体験を踏まえて発表した『初年兵哀歌』シリーズによって一躍注目されました。自分や社会への問いかけをユーモラスに表現した作品は当時から世界的に評価されています。

本展は手探り状態であった銅版画界全体に日が差し込む直前、まさに夜明け前に活動時期が重なる2人の軌跡を辿ります。段階的に意識が高まってゆく銅版画の盛り上がりと熱気をどうぞお楽しみください。

関連イベント

■講演会「版が宿すひかりとかげ」

講師：水沢勉（美術史家・美術評論家）
日時：1月31日(土) 14:00ー15:00
定員：50名(当日先着順、申込不要)
会場：美術館エントランスホール
料金：無料

■文化芸術教育プログラム

先生のためのプログラムを実施します。
美術館訪問や鑑賞授業のヒントにご活用ください。
対象：保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学教員、
学童スタッフの皆様

①先生たちのための10日間

本展の開幕より約10日間、無料でご鑑賞できます。
期間：12月13日(土)～12月24日(水)
料金：無料(申込不要)

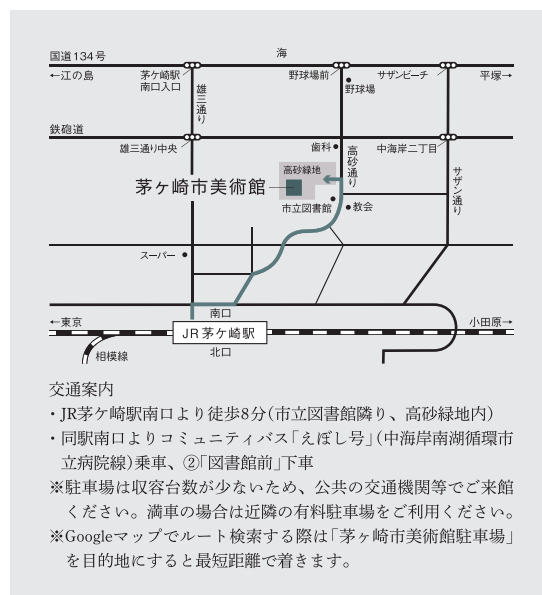
②先生応援ギャラリーツアー

先生たちに向けた鑑賞プログラムです。
講師：細矢芳（アーツ・ゾン美術館 教育普及部学芸員）
日時：12月27日(土) 14:00ー16:00
定員：10名(先着順、事前申込制)
会場：展示室1、2階アトリエ
料金：無料

※①②の詳細は本展ウェブページをご確認ください。

■キュレータートーク

担当：小澤由季（本展担当学芸員）
日時：12月21日(日)、1月17日(土)、2月14日(土)
各日14:00ー(30分程度)
会場：展示室1
料金：無料(要観覧券、申込不要)



茅ヶ崎市美術館

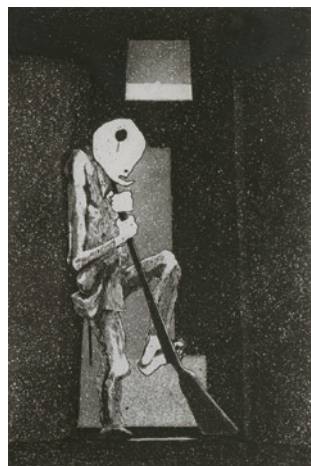
CHIGASAKI CITY MUSEUM OF ART

〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-4-45

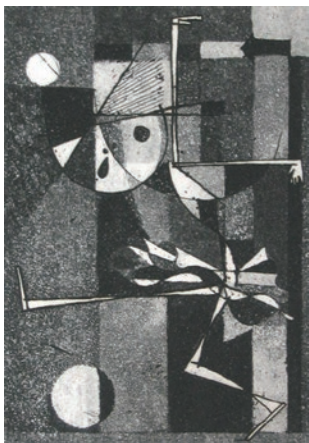
TEL：0467-88-1177 FAX：0467-88-1201

<https://www.chigasaki-museum.jp>

詳細、最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください



浜田知明《初年兵哀歌(歩哨)》1954年
© Hiroko Hamada 2025/JAA2500160



菅野陽《おどり》1954年

画像作品はすべて茅ヶ崎市美術館蔵



SNSでも情報発信しています